



こころ和らぐ医療を創造する

看護学部・看護学科 80名

取得可能資格 ◇看護師 ◇保健師 ◇助産師 ◇養護教諭2種免許 ◇第1種衛生管理者免許 ◇アロマセラピスト

卒業後の進路 ◇病院等 ◇訪問看護ステーション ◇助産施設 ◇看護学校等の教育機関 ◇保健所 ◇保健センター ◇老人保健施設など

保健医療学部・救急救命学科 50→80名

取得可能資格 ◇救急救命士 ◇健康運動実践指導者 ◇スポーツプログラマー ◇ジュニアスポーツ指導員

◇中学校・高等学校教諭一種免許状「保健体育」

卒業後の進路 ◇医療機関 ◇消防署 ◇警察署 ◇海上保安庁 ◇自衛隊 ◇警備会社 ◇中学・高校の保健体育教員 ◇大学院進学など

保健医療学部・柔道整復学科 40名

取得可能資格 ◇柔道整復師 ◇メディカルアスレックトレーナー/MAT(本学認定資格) ◇アスレックトレーナー(JATAC)

◇スポーツプログラマー ◇ジュニアスポーツ指導員 ◇健康運動実践指導者 ◇中学校・高等学校教諭一種免許状「保健体育」

卒業後の進路 ◇施術所、病院等 ◇独立開業(整骨院・接骨院等) ◇スポーツトレーナー ◇スポーツ関連施設 ◇高齢者関連施設

◇中学・高校の保健体育教員 ◇大学院進学など

鍼灸学部・鍼灸学科 50名

取得可能資格 ◇はり師 ◇きゅう師 ◇メディカルアスレックトレーナー/MAT(本学認定資格) ◇アスレックトレーナー(JATAC)

◇スポーツプログラマー ◇ジュニアスポーツ指導員 ◇健康運動実践指導者 ◇中学校・高等学校教諭一種免許状「保健体育」

卒業後の進路 ◇施術所、病院等 ◇独立開業(鍼灸院等) ◇スポーツトレーナー ◇スポーツ関連施設 ◇美容・健康関連施設

◇高齢者関連施設 ◇中学・高校の保健体育教員 ◇大学院進学など

「スポーツスカラシップ制度」

本学強化指定クラブ等において優れた競技成績または能力を持つアスリートを経済面でサポートする制度。競技実績により学費が減免されます。

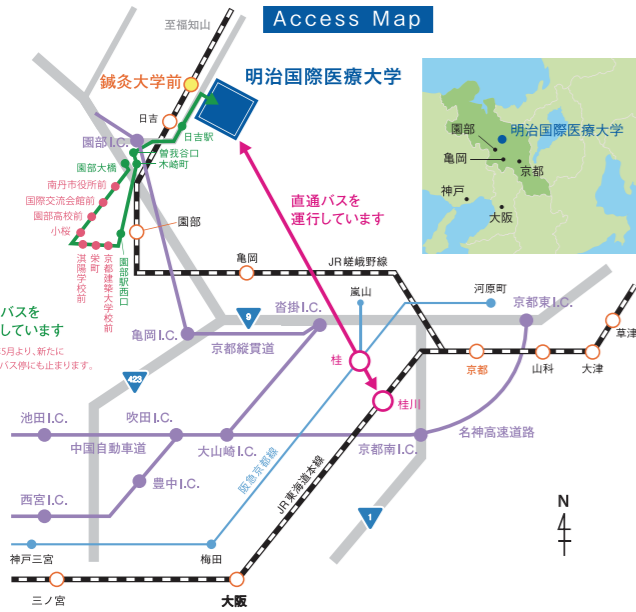
「保健体育」の教員免許取得を目指す

医療系国家資格に加え、通信制の星槎大学との協定により、中学校・高等学校教諭一種免許状「保健体育」の取得が可能に。授業における生徒のケガの予防や応急処置などに素早く対応できるなど、活躍の場が広がります。☆在学中の学費(登録費を除く)は大学負担となります。



スポーツ振興プロジェクト

スポーツと医療を極める 『スポーツとメデイカリスト』への道 (スポーツの経験と医療の知識が届ける未来のサポート)



- JR嵯峨野線「鍼灸大学前駅」下車すぐ
●京阪京都交通バス「大学直通スクールバス」
●阪急桂駅・JR桂川駅から
●JR園部駅から

明治国際医療大学



看護学部[看護学科]・保健医療学部[救急救命学科/柔道整復学科]・鍼灸学部[鍼灸学科]
〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1181 FAX 0771-72-1189 https://www.meiji-u.ac.jp



明治国際医療大学

# 専門医療の学びに、 未来創造力を+ [プラス]

鍼灸・柔道整復・救急救命・看護の専門医療を学びながら  
それぞれが目指す未来を創るための+「プラス」の『力』を身につける



## + 競技力 [プラス]

国内外で活躍できる  
トップアスリートを目指す

P.2

医療系大学ならではのサポート体制で、アスリートの競技力向上に取り組む。



## + トレーナー力 [プラス]

医療系国家資格を持った  
スポーツトレーナーを目指す

P.3

トレーニングだけでなく、選手の日常ケアもできるスキルを磨く。



## + 女性アスリートへのサポート [プラス]

女性アスリートのための  
充実した支援体制

P.4

女性アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できるよう活動を支援。

# + 競技力 [プラス]

国内外のトップレベルで活躍できるアスリート育成を目指して、独自に創設した「アスリートサポートセンター」が徹底サポート。医療機関を持つ本学だからこその、「予防・治療・リハビリ・復帰」と「競技力の向上」を組み合わせた独自の育成法で高い目標に挑みます。

## アスリートサポートセンター

学内の附属病院、附属鍼灸センターなどの医療機関と強化指定クラブのコーチングスタッフおよびトレーナーが連携し、競技力向上をトータルサポートするトップアスリート育成組織。

**[学生組織]**  
アスレチックトレーナー部 「アスリートサポートセンター」内に設置される「アスレチックトレーナー部」に所属し、より高度なトレーナー力を身につけます。

<b>コンディショニングサポート</b> コーチングスタッフやトレーナーが連携して、選手のケガの予防から治療、個々に応じたトレーニング方法などのアドバイスを行います。	<b>競技力向上サポート</b> メディカルチェックの結果から選手の身体的特性を明らかにし、効果的な練習メニューを立案し、医学的な見地から競技力向上のためのサポートを行います。
<b>アスリートサポートセンター</b>	
<b>メディカルサポート</b> 貧血や外傷など医学的な対応が必要な場合に、附属病院と連携して迅速な処置を行います。また、早期の競技復帰に向けたサポートも行います。	<b>栄養管理サポート</b> 個別の栄養指導のほか、栄養学についての講義・セミナーを開催。スポーツ栄養士監修のもと、学生食堂に置いて2種のアスリート食(パワー系・持久力系)を提供します。

女子柔道部	陸上競技部	男子バレー部	女子剣道部	女子サッカー部	男子サッカー部	男子バスケ部	男子準硬式野球部
強化指定クラブ [A指定]				強化指定クラブ [B指定]			

<b>スポーツ関連施設案内</b> 陸上競技場、サッカー場、体育館(アリーナ)	<b>医療&amp;サポート関連施設案内</b> 附属病院、附属鍼灸センター
投てき場、柔道場、武道場 明倫館、トレーニングルーム、フリーウェイトトレーニングルーム	総合リハビリテーションセンター、アスリートサポートセンター、学生食堂、女子スポーツ学生寮

トップアスリートとしての競技力と医学的知識を備えた人材「スポーツメディカリスト」を育成します。

## 陸上競技部 (男子ハンマー投)

柔道整復学科4年 若山 哲也 (わかやま てつや)  
洛陽工業高校出身(京都)



### 陸上競技男子ハンマー投で大活躍!! インカレ優勝、教員免許取得が目標

将来、陸上競技の指導者になりたいと考えていました。高校時代、自分自身もケガが多く苦労したこともあり、そうしたケアも含め総合的に学べ、スポーツにも力を入れていることが本学を選んだ大きな理由です。国家試験に向けた勉強、教員免許の取得、部活動をすべてこなすのは大変ですが、ストレッチをやりながら本を読んだり、空き時間にレポートを書いたり、計画的かつ効率的に日々を過ごすことで乗り越えています。国家試験、教員免許、部活動は一見バラバラのように見えますが、いろいろな面でつながっています。将来の目的、目標が定まっていれば、高い意識を持って取り組めると思っています。最終学年となる今季は、教育実習なども入りさらに忙しくなりますが、日本インカレ優勝を目標に頑張ります。

学生個人選手権で2年連続入賞を果たし日本選手権にも出場した若山選手。入学時70kgだった体重も87kgとなるなど体力アップ。「アスリート食を含め、栄養関連を学べるのも競技力向上に役立っています」と笑顔で話します。



# + トレーナーカ

[プラス]

アスリート育成に取り組み、医療機関・医療スタッフを有する本学だからこそできる「メディカルアスレチックトレーナー」を育成。医療系専門知識とスポーツ医療への研鑽を十分に積み、即戦力として活躍できる本学独自の次世代型トレーナーを育成します。

# + 女性アスリートへのサポート

[プラス]

女性アスリートが抱える様々な健康問題に対して、医療系大学ならではの取り組みによりサポート。女性アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できるよう、食事や学びなどあらゆる方面の環境を整え、活動を支援しています。

※写真は大学敷地内にある女子スポーツ学生寮

## 医療大学が描く新しいトレーナー像

選手として活躍した自身の経験をもとに、メディカル(3つの資格取得)・テクノロジーを修得し選手をあらゆる角度から総合的に支えられる存在へ

スポーツを続けながら夢へまい進

<p>国家資格 (はり師、きゆう師、柔道整復師)</p> <p>JATAC認定 「アスレチックトレーナー」</p>	<p>本学認定資格 「メディカルアスレチック トレーナー」 (MAT)取得までの流れ</p>
---	--

<p><b>フェーズ①</b> 1年次～2年次</p>	<p><b>基礎知識～応用知識 現場見学～運動機能評価</b> 人体の構造や疾病など医療人(セラピスト)としての基礎知識を各学部の教育で身につける</p>
<p><b>フェーズ②</b> 3年次</p>	<p><b>コンディショニング実習 (トレーニング・コンディショニング・メンタル)</b> トレーニング論や栄養管理、メンタルなどトレーナー基礎知識の習得</p>
<p><b>フェーズ③</b> 4年次</p>	<p><b>セラピスト実習 (フィジカル・応急処置・リハビリ)</b> これまでの知識、実習を踏まえて、実際のスポーツ現場で研鑽を積む</p>

☆資格取得認定試験合格者には、認定証を授与

<p><b>メディカル</b> 鍼灸学科・柔道整復学科の学び。スポーツ栄養学・心理学、脳科学などの知識。</p>	<p><b>アスレチック</b> コンディショニング及びリ・コンディショニング。JATACのACT資格取得に必要な知識や技術。</p>
--	---



明治国際医療大学では学内に揃う充実した環境で「スポーツメディカリスト」を育成します

<p><b>フィールドワーク</b> 学内外での300時間を超える豊富な実習で経験値がアップ。</p>	<p><b>テクノロジー</b> ウェアラブル端末やアプリを活用した情報収集とデータ分析&amp;解析、適切なフィードバック。</p>
---	---



## アスレチックトレーナー部

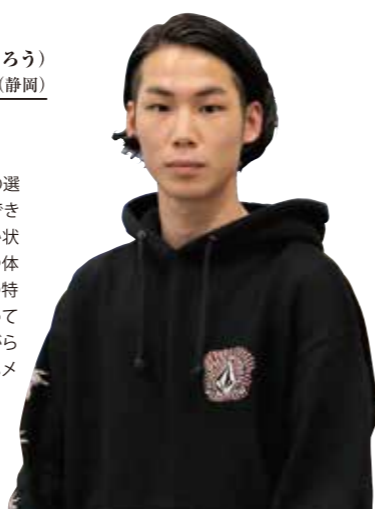
鍼灸学科 4年 堤 拓郎 (つみ たくろう)  
東海大翔洋高校出身(静岡)



### 仲間と共に成長

2年生の時にアスレチックトレーナー部の先輩に誘われ、陸上競技部の主に中長距離ブロックの選手サポートを始めました。小学校から高校まではずっとプロ選手を目指しサッカーに打ち込んでいましたが陸上競技はまったくの素人で、最初はコミュニケーションをとることすらままならない状態でした。それでも日々練習に参加することで競技の奥深さ、選手の特徴などを学び、少しずつ体調や動きの変化にも気づけるようになりました。授業で学んだことを即実践できるのが本学の特長のひとつでもあり、陸上競技はもちろん、柔道、サッカー、剣道、バレーボールと強い部が揃っており、色々な場で経験が積めるのも強みとなります。これは他校に通う友人からもうらやましがられます。また、同じ医療人を目指す他学科の学生、選手と情報交換ができ、視野が広がるのもメリットだと思います。

互いに支え合い、成長し合える存在として、学生トレーナーが選手のコンディショニングをサポート。



## 女性アスリート育成へ充実の環境

女性のスポーツ実施率の向上が叫ばれるなか、女性アスリートの強化・育成にも力を入れている本学では、個々の学生が自らの将来の目標に向かいつつ、各競技で最高のパフォーマンスを発揮できるよう支援しています。ここでは、スポーツに打ち込む各部の女子主将に本学のサポートなどについてお話を聞きました。

**三杉** 学内にアスリートサポートセンターが設置されており、体調不良やケガがあった時にすぐ診てもらうことができます。普段のコンディショニングも含めてお世話になっており、親身になって対応していただけるので試合に集中でき、良い状態で臨むことができます。

**浅井** もしケガをしてもすぐに処置してもらえ、さらにリハビリなどもスムーズなので、早期復帰が可能となります。また、アスレチックトレーナー部の学生が普段の練習や試合でもサポートしてくれているので安心感が違います。

**市瀬** 公式戦も可能な施設・設備が整っているのも本学の特徴です。普段、活動している明倫館も冷暖房完備で練習に集中できます。

実習などで全体練習に参加できない時も、時間をずらして稽古できるので助かります。

**林** どの学科も実習などが多く、練習時間が限られているので、学内に競技関連、医療施設、女子寮などが整っているのが、時間を有効に使い効率的に勉強・練習に打ち込めます。そのお陰もあり、昨年、全国優勝(3人制団体戦)を果たすことができました。

**浅井** 女子サッカー部は、全体練習が午前6時半からなので私を含めほとんどが寮生です。アスリート食など栄養バランスが整った食事が用意されているのでコンディショニングにも役立っています。

**三杉** 練習試合や公式戦の移動は、ほぼ公用車を使わせてもらっています。電車内では、

まとまって戦術などの話ができませんが、車だと会場に着きギリギリまでみんなで話ることができ、とても助かっています。

**市瀬** 各種試合や合宿なども学生負担が少なくなるよう工夫していただいているので、学業・部活動に専念することができます。

**林** 各種大会に応援バスなどで、たくさんの先生方や学校関係者の方が応援に来てくださり、常に元気と勇気をいただいています。

**全員** この大学は看護、柔整、鍼灸など分野は違いますが、将来、医療人を目指し、さらにスポーツを通じて成長したいという仲間が集まっています。そうした仲間と学び合い、切磋琢磨することで得るものも多いと思います。皆さんも一緒にがんばりましょう。

女子柔道部  
林美七海 主将(鍼灸学科3年)



女子サッカー部  
浅井智恵 主将(鍼灸学科4年)



女子バレーボール部  
三杉穂乃香 主将(看護学科3年)



女子剣道部  
市瀬未季 主将(看護学部3年生)



# 強化指定クラブ [A指定]

## 陸上競技部

- 関西インカレ  
男子2部 総合8位(50点) フィールドの部2位(50点)  
女子総合11位(21点) フィールドの部7位(15点)
- 2019日本学生陸上競技個人選手権大会  
男子ハンマー投  
4位63m19 若山哲也(柔道整復学科3年)  
8位61m36 田村啓斗(鍼灸学科3年)
- 第103回日本陸上競技選手権  
男子ハンマー投 出場 若山・田村
- 日本インカレ  
男子ハンマー投  
7位60m34 仲西隆世(鍼灸学科4年)

### 投てき陣の活躍が刺激

部員も全パート合わせて100人に迫る大所帯となりました。部としての大きな目標は関西インカレの1部昇格(男子)、女子駅伝で全国大会に出場することです。投てき種目では日本インカレで活躍するなど全国区となりつつあるので、それに刺激を受け全体の底上げができるよう頑張っています。



## 女子柔道部

- 第27回関西学生女子柔道優勝大会  
女子団体戦3人制(1部) 優勝<3連覇>
- 第28回全日本学生柔道優勝大会  
女子団体戦3人制 優勝<初>
- 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会  
女子63kg級7位 足達実佳(柔道整復学科1年)
- 全日本学生柔道体重別選手権大会  
女子78kg超級5位 上田莉佳(鍼灸学科2年)
- 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会  
女子78kg超級 出場 上田

### 感謝の気持ちを忘れず再び頂点へ

毎日、早朝よりトレーニング、午後は授業終了後、練習に励んでいます。昨年は創部3年目で団体戦(3人制)優勝を果たし、更なる目標に向かい日々練習に取り組んでいます。今季で4学年がそろい部員は29人となります。より一層チームワークを高め、常に感謝の気持ちを忘れず、日本一を目指して頑張ります。



# アスレチックトレーナー部



- 全日本トライアル選手権
- 近畿トライアル選手権
- 京都府高等学校陸上選手権大会
- 京都府中学校駅伝大会
- 全国車イス駅伝競走大会 などの各ケアブース

### 仲間との切磋琢磨で向上

自らが積極的に行動し、大学生時に多くの知識と経験を蓄えることで早期にスポーツ現場に慣れ、卒業後に即戦力として活躍できるような日々活動しています。同じ医療人を志す仲間と刺激し合える環境に身を置くことで、日々の勉強にも自然と力が入ります。

# 2019注目ルーキー



**女子柔道部 宮城 杏優菜**  
(みやぎ あゆな)

柔道整復学科 1年  
(沖縄・沖縄尚学高校出身)  
■2019年世界カデ選手権大会(カザフスタン・アルマトイ)  
44kg級 銅メダル



**女子柔道部 山本 楓花**  
(やまもと ふうか)

柔道整復学科 1年(長崎・長崎明誠高校出身)  
■インターハイ 女子団体 ベスト8



**陸上競技部 田村 星哉**  
(たむら せいや)

救急救命学科 1年(京都・乙訓高出身)  
■インターハイ 男子砲丸投5位



**陸上競技部 三好 ひなの**  
(みよし ひなの)

看護学科 1年(京都・西城陽高出身)  
■U18日本選手権 女子走高跳8位 三段跳4位

## Coach Introduction

### コーチ紹介

#### 陸上競技部



総監督  
**安田 賢司**  
(やすだ けんじ)

京都府出身、中京大学卒業。大阪教育大学大学院修了。大阪成蹊女子高等学校では26年の監督在任中連続全国高校駅伝出場、大阪府立女子総合優勝11回など輝かしい成績を残す。個人では43,000mの全国制覇など、多くの全国レベルの選手を育成。また大阪府協会の理事として、都道府県対抗駅伝大阪府チーム男女総監督なども務める。



短距離・障害監督  
**森 利夫**  
(もり としお)

京都府出身。京都教育大学卒業。37年間教鞭を執り、陸上部顧問も務め、多く優秀な選手を排出。地元の陸上競技の普及強化のため、現南丹市陸上競技協会の立ち上げにも参画。初代理事長。



跳躍・混成監督  
(投てきコーチ兼務)  
**山瀬 純**  
(やませ じゅん)

滋賀県出身。順天堂大学卒業。現役時代はやり投、混成競技選手として活躍。卒業後は高校教員として陸上部顧問を務め多くの優秀な選手を輩出。前・府高体連陸上競技専門部専門委員長。



女子中・長距離監督  
**野々口 直良**  
(ののぐち ただよし)

京都府出身。中京大学卒業。高校で長距離を中心に指導。京都インターハイを2度制したほか、全国インターハイでも上位へ導くなど活躍。個人でも、世界陸上マラソン団体金メダリストなど、世界に通じるアスリートを育成。



女子中・長距離コーチ  
**坂倉 武志**  
(さくら たけし)

京都府出身。日本体育大学卒業。卒業後は、教諭となり陸上部顧問として中学、高校で主に中長距離を指導。京都府陸上競技協会の中長距離・競歩コーチなども務めた。



男子中・長距離監督  
**杉本 昇三**  
(すぎもと しょうぞう)

京都府出身。日本体育大学卒業。同大学院院修了。実業団(芙蓉陸上部)創部3年目でニューイヤークラブを築き、京都府陸上競技協会の中長距離・競歩コーチなども務めた。



投てき監督  
**池本 敬博**  
(いけもと のりひろ)

京都府出身。大阪体育大学卒業。医療機関で健康運動指導士として、予防医学における運動療法の普及に尽力する。京都陸上競技指導協会の投てき強化コーチとして、多くのトップアスリートを排出する。

部長 木村篤史 / 短距離・障害コーチ 中才幸樹 / 棒高跳コーチ 藤川義之 / 投てきコーチ 田中完治・村川増代

## 男子バレーボール部

- 関西大学春季リーグ戦 男子2部 8位<0勝7敗> ※3部降格
- 関西大学秋季リーグ戦 男子3部 1位<7戦全勝>  
※2部昇格 ★3部MVP 浅草大輝(鍼灸学科4年)

★浅草選手はリーグ男子2部兵庫テリフィアに入団

### 主体性を持って活動

部の活動を通じ、一人ひとりが切磋琢磨し、技術向上はもちろん医療人として通用するような人間性、心を磨いています。昨秋、復帰した関西学生リーグ2部定着を目標に自立性を持ち、チーム力の強化をいかに実現できるかを考えながら日々練習に取り組んでいます。

## 女子剣道部

- 都道府県対抗女子剣道優勝大会京都府予選会  
優勝 市瀬未季(看護学科2年)
- 関西学生剣道優勝大会 5人制団体戦 ベスト8
- 全日本女子学生剣道優勝大会(日本インカレ) 5人制団体戦 2回戦進出

### 明るく元気に

明るく元気なところがチームの特徴です。常に明るさと元気を活かした剣道を目指し取り組んでいます。今シーズンの目標は、団体戦・個人戦ともに関西大会で上位入賞、全日本女子学生剣道優勝大会に出場し、ひとつでも多く勝つことです。

## 女子サッカー部

- 関西学生女子サッカー春季リーグ 1部 5位<勝ち点11 3勝2敗2分け>
- 関西学生女子サッカー秋季リーグ 1部 6位<勝ち点8 1勝1敗5分け>

★浦川璃子選手(柔道整復学科4年)は、アルビレックス新潟レディースに入団

### 高い意識を持って活動

50人を超える大所帯になりました。授業がある平日の午後全員が揃うことが難しいため練習は始業前の6時半から行い、午後は勉強の時間に当てています。そのため、多くの部員は学内の寮で生活しています。限られた時間の中で練習に取り組み、一人ひとりが高い意識を持って活動しています。

# 強化指定クラブ

[B指定]

- 男子サッカー部
- 男子バスケットボール部
- 男子準硬式野球部

上:2019年度の主な成績(学年は2019年度)  
下:部のモットー、特徴、目標など

## 女子バレーボール部

- 関西大学春季リーグ戦 女子3部 3位<4勝3敗>
- 関西大学秋季リーグ戦 女子3部 1位<7戦全勝> ※2部昇格 ★3部MVP 三杉穂乃香(看護学科2年)

### 医療現場で大切な「心」を重視

女子バレーボール部では、医療の現場で大切な「心」を重視して活動しています。所属学科は異なりますが、それぞれが明確な目標を掲げることで高い意識のなかで取り組んでおり、昨秋昇格した関西学生連2部リーグで少しでも上位に食い込めるよう頑張ります。

## 男子柔道部

- 京都学生柔道大会 男子2部団体戦 2位

### 日々の稽古を通じて人間性を高める

選手としての目標の実現はもちろん、日々の稽古を通じて、医療人、選手としてふさわしい人間性および臨床力を身につける環境が整っています。女子の活躍にも刺激を受けており、全日本学生柔道体重別選手権大会出場を目指し部員一丸となって取り組んでいます。

#### 女子柔道部



監督  
**小川 豊清**  
(おかわ とよきよ)

大阪府出身。天理大学卒業。柔道の名門ダイコロ入社。全日本学生優勝大会団体優勝や全日本実業団団体優勝、実業団選抜として国際大会(イタリア)団体3位などチームの要として活躍。指導は、ジュニア～実業団まで幅広く、多くの実績を持つ。



コーチ  
**堀 歩未**  
(ほり あゆみ)

奈良県出身。鹿屋体育大学修了。学生時代に全日本学生優勝大会(団体3人制)で2連覇、個人でも全日本ジュニア2位、ユニバーシアード大会出場などの実績を持つ。院生時に柔道部のコーチを務めた。

#### 男子柔道部



監督  
**吉田 勲生**  
(よしだ いさお)

奈良県出身。天理大学修了。柔道整復師。系列の明治東洋医学専門学校で長年教員を務め柔道部監督、外部指導員として本学男女柔道部の指導にあたり数多くの実績を残す。2018年より現職。



監督  
**小島 大海**  
(こじま たいかい)

京都府出身。専門学校卒業後、ユニチカへ就職。2013年より本学附属病院内事務課職員。中学、高校でバレーボール部に在籍。高校卒業後は地元の6人制クラブチームにて、2007年頃から9人制に転向し全国大会にも出場。



監督  
**橋本 純一**  
(はしもと じゅんいち)

大阪府出身。京都教育大学卒業。京都府立北陸高校の女子バレーボール部監督を42年間務め、インターハイ3位などの実績を残す。教諭として北京五輪などを経験した大村加奈子、佐野優子などがある。



監督  
**水谷 和江**  
(みずたに かずえ)

京都府出身。サッカーの本場ブラジルなどで選手として活躍後、1993年よりガンバ大阪アカデミー、2005年より、セレッソ大阪アカデミーで監督を歴任。2010年セレッソ大阪レディース監督に就任。創部3年目で女子リーグに昇格させる。



監督  
**中村 貴史**  
(なかむら たかふみ)

京都府出身。サッカーの本場ブラジルなどで選手として活躍後、1993年よりガンバ大阪アカデミー、2005年より、セレッソ大阪アカデミーで監督を歴任。2010年セレッソ大阪レディース監督に就任。創部3年目で女子リーグに昇格させる。

- 男子サッカー部 監督 今西晃一 ■男子準硬式野球部 監督 石田雅昭 / 部長 吉田行宏 / コーチ 宮脇正志 ■男子バスケットボール部 監督 福島跳太 / 部長 桶谷良
- アスレチックトレーナー部 監督 棚原勝平 / 部長 木村啓作 ■アスリートサポートセンター 栄養指導 桑原彩 ■トレーニングルーム 中才幸樹